

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
第6回 北区子育てフェスタ		北区子育てフェスタ実行委員会			
事業目的	事業内容	活動指標	H28	H29	H30
主に区域の子どもや子育て世帯を対象に、区の子育て支援施策・制度を広く周知するとともに、とくに就学前児童のいる世帯が孤立することなく子育てができるよう、地域で活動している各種団体や子育てひろば等と多様な交流を促進し、保護者自身の学びや育ちも支援することで、子育てしやすいまちづくりをめざすことを目的とする。	以下のとおり実施 ◎7月22日(日) ステージイベント、育児相談、えほんのひろば、子育てひろばPRコーナー、子育てサークルの活動紹介等	来場者数	約2,700人	約3,500人	約4,500人
		アンケート	回収件数 137件 北区の子育て支援の情報を 知ることができたか とてもそう思う 24.8% ややそう思う 54.8%	回収件数 240件 北区の子育て支援の情報を 知ることができたか とてもそう思う 26.3% ややそう思う 51.7%	回収件数 410件 北区の子育て支援の情報を 知ることができたか とてもそう思う 37.8% ややそう思う 35.6%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 本事業を通じて、子育て世帯が地域で活動している各種団体や子育てひろば等と交流することで、子育て世帯の孤立化を防止し、子育てしやすいまちづくりに貢献していることから、当事業の目的に適合したものである。	○ 本事業は、子育て関係各種団体の代表者等で組織する実行委員会が主催の下で企画立案を行っており、市民目線の多様な意見を反映できるものとなっている。また、昨年度に引き続き実行委員会に企業が参画することで、集客イベント等事業内容や広報活動について、企業視点での意見を取り入れることができた。事業当日は、役割分担として、一部ブースの運営を市民や各種団体が、会場受付等の事務局業務を区職員が担った。	◎ 子育て中の世代が多く、同世代の転入者も多い北区の特色を生かした事業であり、同規模の子育てに関するイベントは他区では取り組みの無いものである。また、区内の子育てひろば利用者によるキッズファッションショーを実施するなど、区民と共にイベントを盛り上げることができた。さらに、場所をイオンモール堺北花田としたことから、本イベントが目的でない買い物客にもより広く行政の子育て施策を広報することができた。	○ 昨年度に引き続き、イオンモール堺北花田と協働で開催し、集客イベントや会場費用を実行委員会で負担することなく開催できた。また、場所をイオンモール堺北花田とすることで、来場者の利便性が向上し、北区在住の来場者以外にも北区の子育て施策を広くPRでき、北区内からも広い地域からの来場者があった。来場者アンケートについては、会場スタッフによる直接の聞き取りを新たに実施し、回収数を昨年より大きく伸ばすことができた。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 各種団体との調整や事業全体のとりまとめ等、区が主体的に行っている部分を市民に即移行することは困難であるが、子育て関連団体が主体的に事業実施するなど、自立発展性の可能性はある。	○ 本事業を通じて、子育て世帯が地域で活動する各種団体や子育てひろば等と交流することで、子育てしやすいまちづくりにつながっている。また、市が行っている様々な子育て施策を紹介できる場としても効果的であり、来場者からも高い満足度を得ている。よって、子育て中の世代が多く、また、同世代の転入も多い北区においては、今後も継続して実施すべき事業である。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;"> 拡充 継続 見直し 廃止 </div>	昨年度に引き続いて、イオンモール堺北花田で実施したことによる効果が表れている結果となったことから、次年度においても同会場での開催を予定している。「子育て施策の周知」という事業目的に関して、今年度のアンケート結果からは昨年度よりも評価が下がったことから、事業内容の見直しが必要と考えられる。これまでの開催における反省等に加え、今年度に回収方法を見直し、回収数が増加した来場者アンケートからの意見も参考にしながら、より充実した内容としていかなければならない。				